

平成24年2月16日

ご投資家の皆様へ

T & Dアセットマネジメント株式会社

**「日興T&Dパシフィック・パートナー・ファンド
(毎月決算型) / (資産成長型)」における組入銘柄の評価替えならびに
基準価額への影響について**

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、「日興T&Dパシフィック・パートナー・ファンド(毎月決算型) / (資産成長型)」(以下、当ファンドといいます。)が投資対象とする「日興T&Dパシフィック・パートナー・マザーファンド」(以下、マザーファンドといいます。)に組入れられております、PT BERLIAN LAJU TANKER Tbk(ベルリアン・ラジュ・タンカー / 以下、当銘柄といいます。)の評価替えを行いました。基準価額への影響や評価替えに至った背景につきまして、以下ご報告申し上げます。

敬具

記

<評価替え理由>

当銘柄は、2012年1月25日より債務支払いが停止され、債務再編のため金融商品取引所における取引が停止された状態で、気配値もなく流動性が失われておりました。債務再編については外部アドバイザーと契約をしていることもあり、進捗状況に関して慎重にモニタリングを継続しておりましたが、2012年2月10日にスタンダード&プアーズ社が当銘柄の財務状況を勘案して信用格付をこれまでのCC格からD格へと引き下げたことなどを受けて、マザーファンドの運用の指図を行っているRCMアジア・パシフィック・リミテッドからの情報等も参考にし、現在の評価価格(直近の日の最終相場)によることが適当でない判断致しました。この判断に伴い、取引再開までの間は保守的な評価を行うこととし、平成24年2月15日より当銘柄を1インドネシア・ルピア(備忘価格)で評価する対応を取らせていただきました。なお、当該評価替えにつきましては、当ファンドの監査法人とも協議した上での判断です。

<銘柄の評価替えについて>

銘柄名	PT BERLIAN LAJU TANKER Tbk (ベルリアン・ラジュ・タンカー)
実質組入比率(平成24年2月14日時点)	3.50 %
評価替え前価格(平成24年2月14日時点)	196 インドネシア・ルピア
評価替え後価格 ^(注) (平成24年2月15日時点)	1 インドネシア・ルピア(▲99.49%)

※評価替えによる影響は平成24年2月15日付の基準価額より反映されます。

(注) 評価替え後価格は、1インドネシア・ルピアを備忘価格としています。

◆ ファンドの基準価額への影響（見込み）について

ファンド名	評価替えによる 基準価額への影響 (円)
日興T&Dパシフィック・パートナー・ファンド(毎月決算型)	▲298.65
日興T&Dパシフィック・パートナー・ファンド(資産成長型)	▲311.58

◆ 「日興T&Dパシフィック・パートナー・ファンド（毎月決算型）／（資産成長型）」への影響

ファンド名	平成24年 2月14日 基準価額 (円)	平成24年 2月15日 基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
日興T&Dパシフィック・パートナー・ファンド (毎月決算型)	8,579	8,320	▲259	▲3.02
日興T&Dパシフィック・パートナー・ファンド (資産成長型)	8,925	8,655	▲270	▲3.03

<当銘柄の見通し>

ケミカル船物流の市況については、スポット運賃が昨年より上昇を示しており、改善傾向にあります。しかしながら、当銘柄の財務体質について、負債への依存度が相対的に高く、今年に入りキャッシュフローの問題から債務の不払いが発生しました。一方で、当銘柄はインドネシアで最大の海運会社であり、国内大手のエネルギー供給元であるPertaminaと長期契約を締結しています。また、取引先金融機関がデフォルトを回避すべく債務再編を行うことが期待されることなどから、当銘柄がデフォルトを回避する可能性はあるとみています。

<今後の運用方針>

世界の株式市場は足許回復傾向にあり、さらなる上昇余地があると見込んでいます。欧州の金融緩和や中国における財政出動期待などから、2012年後半には世界経済が改善を示し始め、長期的には株式市場の成長の好材料になると見込んでいます。海運市況についても、タンカー輸送市況やコンテナ市況は最悪期を脱することが期待されるなど、短期的な見通しについては僅かに改善傾向にあると見ています。

なお、当銘柄の今後の運用方針については、債務再編の進捗を慎重に見極めながら、判断を行う予定です。今回の件につきましては、ご投資家の皆様へ多大なるご心配をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

今後の当ファンドの運用方針については、当面はディフェンシブなポートフォリオを継続するものの、短期的な投資機会も積極的に捉えるべく、ディフェンシブセクターから景気循環セクターへ入れ替える投資を行っていく方針です。また、中期的には株価の回復が期待できるという見通しのもと、ドライバルク（ばら積み船）関連銘柄の組入れの機会を窺っていく方針です。

*RCMアジア・パシフィック・リミテッドより入手したコメントを元に作成しております。

<銘柄情報>

銘柄名 : PT BERLIAN LAJU TANKER Tbk (Bloomberg Ticker : BLTA IJ)

- ・ インドネシア最大の総合海上輸送サービスに従事する海運会社です。
- ・ 原油、燃料油、液体化学品、液化石油ガス、植物油、糖蜜、液体アスファルトなどの液体貨物に注力しています。

1. 取引停止時期 : 2012年1月25日
2. 取引停止理由 : 債務支払いの停止及び債務再編のためです。2011年第3四半期までは当銘柄の財務体質は健全さを保っていました。2011年第4四半期に入り、市況改善などからスポット運賃は上昇したものの、それ以上にコスト(燃料費、人件費、保険費用等)が上昇したことから、業績および財務体質が悪化しました。
3. 取引開始の見通し : 当銘柄は債務再編について外部アドバイザーと契約しており、順調に行けばこれから1ヵ月程度と見込んでいます。

以上

※本資料はご投資家の皆様にT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の購入をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

当ファンドのお申込みに際してのご留意事項

【当ファンドの投資リスクについて】

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。

したがって、当ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

◎当ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクについて

「株価変動リスク」「為替変動リスク」「カントリーリスク」

※基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

当ファンドに係る費用について

【お客様には以下の費用をご負担いただきます。】

◇お客様に直接的にご負担いただく費用

購入時手数料……手数料率は購入お申込み金額^{*}に応じて、以下の率を乗じて得た額とします。

1億円未満…………… **3.6750% (税抜3.50%)**

1億円以上5億円未満… **2.1000% (税抜2.00%)**

5億円以上10億円未満… **1.0500% (税抜1.00%)**

10億円以上…………… **0.7875% (税抜0.75%)**

スイッチング手数料…ありません。

信託財産留保額…ありません。

※お申込み金額 = (お申込み価額 × ご購入口数) + ご購入時手数料(税込)

【ご注意ください】例えば、お申込み金額100万円で購入いただく場合、指定金額(お支払いいただくお申込み金額)の100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該投資信託の購入金額となるものではありません。

◇お客様に信託財産で間接的にご負担いただく費用

運用管理費用: 毎日、ファンドの純資産総額に**年1.89% (税抜1.80%)**の率を乗じて得た額とします。

(信託報酬) 【外部委託先報酬】

マザーファンドの運用委託先であるRCM アジア・パシフィック・リミテッドが受ける報酬は、委託会社が受ける報酬から支払われるものとし、その報酬額は、マザーファンドの日々の純資産総額に、年0.66%の率を乗じて得た額とします。

その他の : 【監査費用】

費用・手数料 毎日、ファンドの純資産総額に年0.00735% (税抜0.007%)の率を乗じて得た額とし、ファンドでご負担いただきます。

【その他】

証券取引に伴う手数料、組入資産の保管等に要する費用等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※当該手数料等の合計額については、お客様が当ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

<販売会社>

SMBC日興証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号

加入協会: 日本証券業協会、社団法人日本証券投資顧問業協会、

社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会